

株式会社ジェイコム埼玉・東日本
(越谷・春日部局、草加局、埼玉県央局)
2021年度 放送番組審議会 議事録

【概要】2021年度は、コロナ禍の影響もあり「アンケート形式」で実施

【資料配布期間】 2022年3月4日(金)～

【回答方法】メール返信、「質問書」返信 他

【配布資料】

- ・コミュニティチャンネル自主制作番組資料
- ・放送番組審議会 質問書
- ・審議対象番組視聴DVD 3枚

(①「LIVE ニュース」/ 越谷・春日部局:2021年11月24日(水)16時放送回、草加局:2021年12月7日(火)

10時放送回、埼玉県央局:2021年12月13日(月)16時放送回 ②「埼玉の逆襲」 ③コミュニティチャンネルの
取り組み)

<放送番組審議会委員>

ご出席(五十音順)

尾 堤 宏 さま	川 西 潤 一 さま	小 松 政 毅 さま
西 谷 友 孝 さま	三 輪 祐 子 さま	宮 城 美 由 紀 さま

2021年度の放送番組審議会は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、番組審議会委員と事業者との対面での審議は実施せず、事業者側より放送番組審議会委員に対して書面をもって現況報告及びJ:COMチャンネルの取り組み、放送実績について報告を行い、審議委員より書面にてJ:COMチャンネルに対して、意見、要望があった。

意見書の集約および回答については、「ジェイコム埼玉・東日本 越谷・春日部局/草加局/埼玉県央局」および、番組制作を担当する、JCOM株式会社「J:COMプロダクション本部」により、意見の拝受および内容の検討・審議の上、ご回答させていただいております。

<回答者>

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 越谷・春日部局/草加局/埼玉県央局

越谷・春日部局 局長	美濃 昌輝
草加局 局長	畠 直樹
埼玉県央局 局長	高田 康二
地域プロデューサー	山岸 寿樹
	山崎 菜摘
	境 慶太
	松井 菜摘

JCOM株式会社 J:COMプロダクション本部
埼玉ニュース報道グループ マネージャー 大橋洋一
埼玉ニュース報道グループ さいたま事務所 北條英行

【審議】

◆質問1：各局のレギュラー番組「LIVE ニュース」のご意見・ご感想・課題・改善案など

【越谷・春日部局について】

<良かった点>

- ・(オープニングについて) 中継先からの空模様や街並みを見せることで、まさに「今」を伝えることが出来ていると思った。
- ・(コロナ情報&安心安全について) まさに地元密着でとても良い情報発信だと思った。
- ・(構成について) 基本的にはまとまっている印象をうけた。
- ・外の中継先から生放送でニュースを放送する試みは、ライブ感もあり PR にもなって良いと思う。

<改善点>

- ・(オープニングについて) 地上波でみかけるお天気カメラのような高い建物からの映像もあつたらいいと思った。
- ・(MC について) 説明を読み上げるところはどうしても手元を見る必要があるため、読んでいる間は関連する写真のインサート等を入れたほうが良い印象になると思う。
- ・(中継について) トークに慣れていない素人の方相手の中継は大変かと思うが、もう少し事前に話す内容を打合せしてまとめ、キャスターの方から話をふるようにある程度コントロールすると、より内容が伝わりやすいと思う。
- ・(構成について) 天気、地域の安心安全情報、地元ネタ、という要素で考えると、天気の比重がやや多すぎるような気もした。最近はイベントが少ないので難しいかもしれないが、話題として地域の時節ネタなどもあっても良いかもしれない。
- ・アナウンサーが街中に居るというだけで、街を歩き回るのは無いため LIVE 感に欠ける。内容も「街の情報」という感じで最新ニュースとは思えない。駅前での放送に違和感を感じるので、スタジオで充分だと思う。
- ・強風などで原稿が飛んでしまうなどのアクシデントが起きないか少し心配になった。
- ・南越谷駅付近からの映像だったが、歩道の中央でかつ点字ブロックの上をまたいでいたようなので、仮に視覚障害の方が通られた場合は、通行の妨げになる可能性があるので配慮をお願いしたい。スポンサーの絡みで店舗付近での中継が必要なのであれば、店舗内で中継するなどの方が良いのではと感じた。
- ・中継先はリポーターの方がいないため、アナウンサーとの会話が双方音声だけなので少し間が空くところが気になった。

【制作担当から】

- ・市民ゲストの方々とのやり取りは、どうしても相手によって話のテンポや返答などがまちまちになっ

てしまう。我々としても充分事前の打ち合わせをして、視聴者に分かりやすく内容が伝わるよう気を付けていきたい。

- ・天気予報の比重は日によってまちまちになっており、その他の内容が多い場合は天気予報そのものをカットする場合もある。地域の時節ネタは積極的に取り入れていきたい。
- ・点字ブロックについては、現場でも細心の注意を払って対応を行っている。通行人についても充分配慮しているが、時折何か言われてしまう事についてはなかなか避けられず苦慮している。
- ・中継先にもリポーターを置いてしっかり対応するように体制を作っていきたい。

【草加局について】

<良かった点>

- ・ライブというのが良い。コロナ情報など、市レベルの情報をとれる良いツールだと思う。
- ・手ぬぐい体操など季節にあった情報提供を行う点も良い。
- ・やはり、ライブは良い。進化している JCOM と感じた。

<改善点>

- ・ハンディカメラの画像のブレが地震中継みたいだった。

【制作担当から】

- ・カメラのブレについて、スタッフの力量に個人差があり大変申し訳なく思う。また中継連携の難しさから、今は放送に乗っていないとカメラマンが誤った判断をしてしまい、放送中にも関わらずカメラを変に動かしてしまう事がある。

【埼玉県央局について】

<良かった点>

- ・ローカルニュース番組としては、現在の内容でよいと思う。
- ・地域密着感があり好感が持てる。

<改善点>

- ・新型コロナ対応で、現在は野外収録からスタジオ収録になっているが、やはり野外収録のほうがライブ感があるので野外収録を再開してもらいたい。
- ・LIVE ニュースは時間帯によって、さいたま事務所以外の局で制作されたものも放送しているので、テレビ番組欄に（県央）や（越谷）、（川越）、（所沢）などと入れてもらえるとうい。
- ・男性アナよりも女性アナの方が、よりソフトな感じになるのではないかと思った。

【制作担当から】

- ・野外収録については、緊急事態宣言やまん延防止措置などが発令されている際には中止（スタジオから放送）にしている。それらの措置が無い時はしっかりと野外放送を実施する。
- ・テレビ番組欄については本当にその通りだと思っている。

◆質問2:「埼玉の逆襲」のご意見・ご感想・課題・改善案など

<良かった点>

- ・こちらの番組はちょこちょこ拝見していた。自虐ネタとゆるさ、とても好きです。こういう番組待ってました！
- ・YouTubeでも見られてとても嬉しい。
- ・世界埼玉化計画という壮大なテーマで取り組まれ、埼玉150周年スペシャルで県内63市町村を巻き込んだ企画でとても良いと思う。
- ・よく考えついた。タイトルからして両刃の刃なのに。企画を考えた人がすごい。素直に面白い。
- ・「必死にPR」とか「埼玉化プロジェクト」などの言葉もいちいち面白い。
- ・マスコット（たまやん）をつくったのも良かった。
- ・うちわ150枚配るまで帰れないとか、ちんどんやなどの発想も良い。
- ・面白いので多くの人に知ってほしい。とにかく企画力がすごい。
- ・「The 埼玉」は本放送を視聴したが、いい意味で「しょうもない」ドラマだった。(なんとコメントすると気持ちがうまく伝えられるか・・・)悪くはない。
- ・ユーモア溢れるバラエティーで良かったと思う。
- ・「150周年」に合わせた良い企画だったと思う。

<改善点>

- ・せっかくの公開収録なのに、VTRを見てコメントをするばかりなのがなんとなく勿体なさを感じた。
- ・たまやんの声で、時々声のトーン?設定?が違う回があるので、ちょっとびっくりすることがあった。
- ・一般的には話題になっているようだが、個人としては某映画のマネにしか見えず、面白味を感じない。申し訳ないが、レベルの低い悪ノリのように最後まで見ていられなかった。
- ・PRが少し弱かったのではないかと思う。J:COMの番組すべてをPRすることはできないが、越谷市内での中継や取材があった場合は、本市でもPRさせていただきたいと思うので、連携をお願いしたい。
- ・特別回(公開収録)だったので、いつもの番組の様子がわからなかった。通常回のビデオも見なかった。

【制作担当から】

- ・公開収録は埼玉150周年を記念し、埼玉県と連携した企画であったが今後も番組を通じて、埼玉県の認知度・好感度および埼玉県民の愛着度向上に寄与していきたい。PRに関してはご指摘の通りで今後はPRの強化に努めていきたい。

◆質問3：「コミュニティチャンネルの取り組み」のご意見・ご感想・課題・改善案など

<良かった点>

- ・(コロナ関連情報について) 大変有益な情報発信を継続して頂けて良かった。
- ・(コロナ禍の花火について) シークレット花火を放送する取り組みは感染症対策にもなり、本当に素晴らしい取り組みだと思う。事前に地域の皆さんと連携して準備をされていることから、JCOMが地域の皆さんに信頼されていることが伺える。
- ・(高校野球について) 地上波ではなかなか放送しきれないところを放送してくれるのは、出場する球児やその保護者の皆さんにとっても良い思い出になり、更に感染症対策にも繋がり、素晴らしい取り組みだと思う。
- ・(選挙特番について) 春日部市長選挙は本当にJCOMのおかげでリアルタイムで拝見出来た。JCOMの放送がなかったら、WEBの文字情報のみだったので大変有り難かった。
- ・(Weeklyトピックスについて) LIVEニュースとの棲み分けをされたのは理にかなった良い棲み分けだと思う。
- ・コロナ禍でイベントが無くなり、祭りなどの生中継ができなくなりご苦労されたことと思うが、このピンチをチャンスと捉え精力的に番組制作をされていると感じた。
- ・シークレット花火の中継では、様々な角度からの映像で臨場感のある映像をお届けいただいたと思う。
- ・高校野球では多くの時間を割き、地元のテレビ局ならではの試合放送をし、各学校関係者、野球ファンにはよろこんでくれたのではないだろうか。
- ・花火中継、高校野球、選挙、ライブニュースなど、視聴者の知りたいことを生中継しているJCOMの大変な進化を感じた。
- ・花火大会、選挙、高校野球、ライブニュースと、ローカルネタを丁寧に取り上げていることは評価できる。
- ・今年度ではないかもしれないが、過去の花火大会の特番の再放送もよい企画だったと思う。

<改善点>

- ・特に無し

<その他 感想>

- ・J:COMらしく、泥臭く地域を掘り下げたり、地方のレアな情報を取材するのはコロナ禍にあっては困難だとは思いますが、一般的なTVとは違う“わざわざ見に行く”番組作りを期待する。
- ・未だコロナの収束が見えず、番組制作は模索の日々が続くことと思いますが、頑張ってくださいと思う。
- ・令和4年度こそ、各地でイベントが開催され、それを取り上げていけるとよいと思うし、今から、各地からイベント開催に向けての関係者の想いを取材した番組を制作してもよいかと思う。
- ・昨今はIT化によりとかくコミュニティ不足になりがちだが、そんな中、テレビならではのコミュニティづくりを目指して更に前進して欲しい。

【制作担当から】

- ・2年以上続いている新型コロナの影響で我々も特別体制で制作したり、新型コロナを中心に据えた番組作りをしてきて、難しかったことも多かったが得たものも多かった。この経験をコロナ明けに再び「地元密着」を追求してゆく上での糧としていきたい。いただいたご意見・ご感想も大きな励み、そして参考とさせていただきたい。

以上